

「福笑い」における刈取適期判定のための籾水分率の推定

福島県農業総合センター 作物園芸部 稲作科

1 部門名

水稻－水稻－収穫・乾燥・調製

2 担当者名

鈴木寛人

3 要旨

水稻の適期刈取は品質低下を防止するうえで重要なポイントであり、籾の黄化程度や出穂後の積算気温により判定することとなる。県オリジナル品種「福笑い」は、「籾黄化率 80～90%」、「積算気温 1050°C」を刈取適期の判定基準としているが、コシヒカリなど他の既存品種に比べ籾の黄化程度の判別が難しいことから、判定の補助的な指標として籾水分率の推定による刈取適期の判定法を開発した。以下3項目により簡易的に籾水分率の推定が可能である。籾水分率 25%程度の時、籾黄化率 80%であり、刈取適期判定の目安に活用できる（図1）。

- (1) 栽培ほ場の平均籾水分率の推定には、平均的な生育の株を選び、その中でも稈の長さが中庸な穂を用いる。
 - (2) 1穂の籾のうち、中間の枝梗にある籾水分がその穂の平均的な水分となる（図2）。
 - (3) 中間の枝梗にある籾を外してよく攪拌し、水分計により水分率を測定する。
- この工程を複数の穂で繰り返し、水分の目安とする。

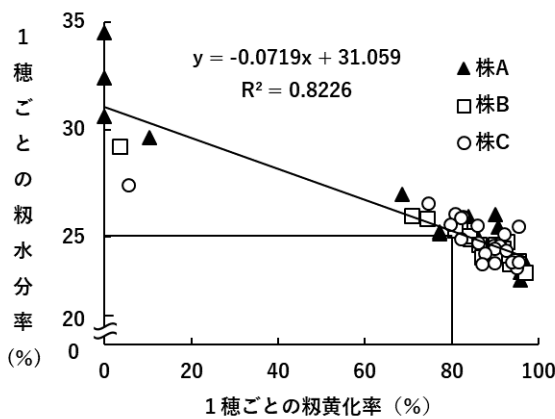


図1 1穂ごとの籾黄化率と籾水分率との関係
(穂数：株A 15本、株B 17本、株C 22本
3株平均：籾水分率 25.1%、籾黄化率 82.5%)

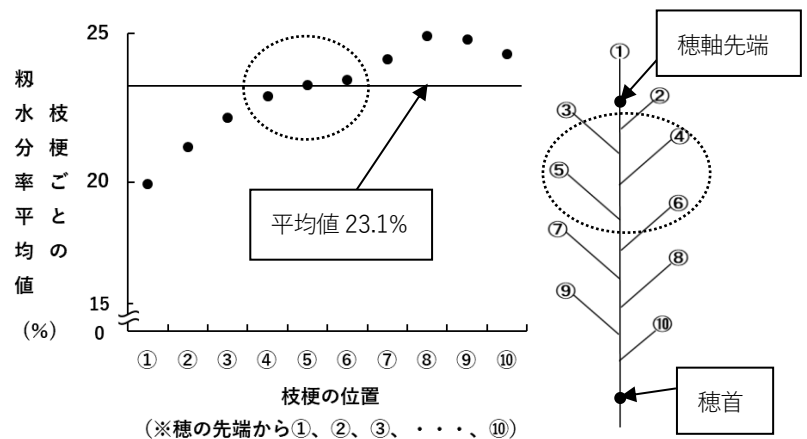


図2 枝梗の位置と籾水分率との関係
(プロットは枝梗ごとの籾水分率平均値、
右図は枝梗の位置の考え方を示す。

籾水分率は米麦水分計 SP-1D3 (Kett 社) による測定値。)

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和 3～7 年度
- (2) 研究課題名 主要農作物生育作柄解析調査研究

5 主な参考文献・資料 なし